終戦80年

戦跡記念碑をたどる-12

CATHAY日本軍宣伝工作本部

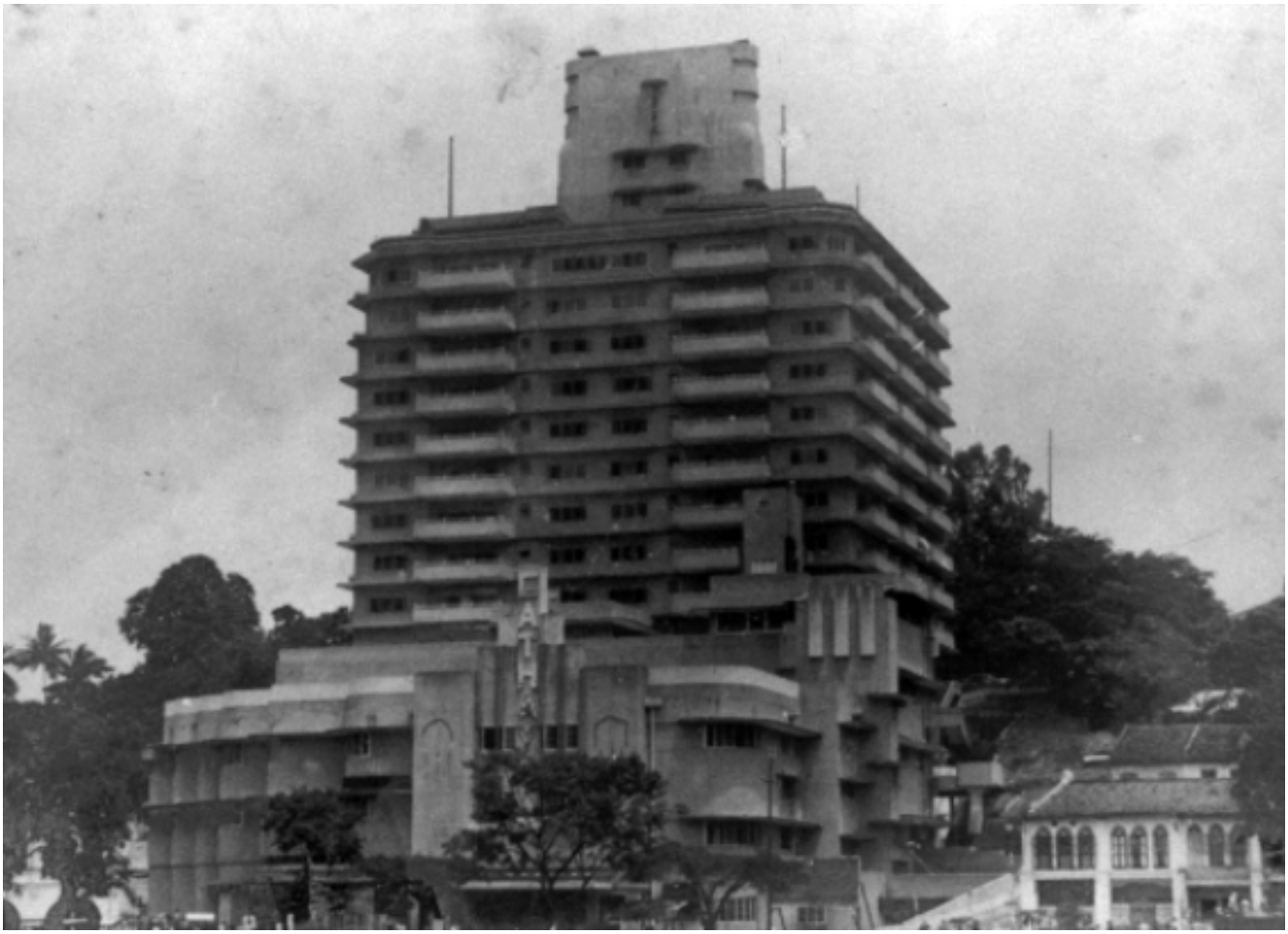
JAPANESE PROPAGANDA CENTRE

2026年8月6日　史蹟史料部

戦跡記念碑 NO.16 Cathay 日本軍宣伝工作本部
JAPANESE PROPAGANDA CENTRE

設置場所 : 2 Handy Road, Singapore 229233 (outside The Cathay)

第 12 回目は、ドビーゴートにある戦跡記念碑をご紹介します。



旧キャセイビル

佐々木賢一さんによる手書きの地図

この建物は、第二次世界大戦前には英国領マラヤ放送協会（British Malaya Broadcasting Corporation）の本拠地でしたが、日本占領期には日本軍の宣伝・広報機関として利用されました。

当時、日本軍はラジオを通じて軍政に関する情報やプロパガンダを発信していました。ラジオは、今日のインターネットや SNS のように情報を広く迅速に伝えることのできる最も有力なメディアであり、戦時下では重要な戦略手段として活用されていました。「戦後 80 年　戦跡記念碑をたどる 6 ― ブキバトの忠霊塔」でご紹介した忠霊塔での式典の様子なども、ここから放送されていました。

しかし、多くのシンガポール市民はこうした放送を好まず、生命の危険を冒しながらも、ひそかに BBC（英国放送協会）のニュースを聴いていたと言われています。

佐々木賢一さんの回想によると、戦前のキャセイビルは 13 階建てで、当時のシンガポールで最も高い建物でした。4 階以上はホテルとして使用され、1 階と 2 階には映画館が入っていました。日本占領期には「大東亜劇場」と呼ばれ、地下 1 階には映写室が設けられていました。佐々木さんは、この映写室で映画『風と共に去りぬ』を鑑賞したと記しています。なお、『風と共に去りぬ』は戦前の日本では反戦的な内容を含むとみなされ、輸入や上映が制限された時期がありました。

終戦後の 1945 年には、この建物は日本軍の降伏受諾を指揮したルイス・マウントバッテン卿の司令部としても使用されました。

キャセイビル前にある戦跡記念碑

文責：史蹟史料部　両頭真衣